

- 格差は社会の選択
  - 本書冒頭 — 「どんな社会も不平等を正当化する必要がある」
  - 
    格差
    - 制度とそれを支える考え方が作り出した
    - ・社会構造（中世の身分制度など）
    - ・イデオロギー（植民地主義や奴隷制など）
- 税と制度で変える力
  - 
    格差縮小に大きく貢献
    - 20世紀前半の大戦や大恐慌
    - 戦後の累進課税の導入
    - ⇒ 政治的な意図による影響
  - 「r ＞g」を放置 — 反対に格差が広がってしまう
  - 重要なこと — 税や制度をどう設計するか（政治介入）
- 未来をつくる仕組み
  - 参加型社会主義
    - 資本主義を進化させる
    - みんなで資産や税の使い道を話し合う
  - （例）
    - 累進所得税や相続税の強化
    - 全員に「資本の資金」を与える
    - 企業従業員の意見参加

